



# 株主・投資家の皆様へ 株主通信

2017年3月期通期のご報告

2016年4月1日～2017年3月31日

**テンプホールディングス**  
(証券コード：2181)

# はたらいて、 笑おう。

## 株式に関するお手続きについて

### 証券会社などの口座に記録された株式

#### ■お手続き、ご照会などの内容

- 郵送物などの発送と返戻に関するご照会
- 支払期間経過後の配当金に関するご照会
- 株式事務に関する一般的なお問合せ

#### ■お問合せ先

株主名簿  
管理人  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号(※2)  
TEL 0120-232-711(通話料無料)

- 住所・氏名変更など上記以外のお手続き、ご照会

口座を開設されている証券会社などにお問合せください。

### 特別口座に記録された株式

#### ■お手続き、ご照会などの内容

- 特別口座から一般口座への振替請求
- 住所・氏名などのご変更
- 特別口座の残高照会
- 配当金の受領方法の指定(※1)

#### ■お問合せ先

特別口座  
口座管理機関  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号(※2)  
TEL 0120-232-711(通話料無料)

#### [手続き書類のご請求方法]

- 音声自動応答電話によるご請求 ▶ 0120-244-479(通話料無料)
- インターネットによるダウンロード ▶ <http://www.tr.mufg.jp/daikou/>

- 郵送物などの発送と返戻に関するご照会
- 支払期間経過後の配当金に関するご照会
- 株式事務に関する一般的なお問合せ

株主名簿  
管理人

(※1) 特別口座に記録された株式をご所有の株主様は、配当金の受領方法として株式数比例配分方式は選びいただけません。

(※2) 株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関の事務拠点の移転に伴い、平成29年8月14日以降の連絡先は以下となります。

◆三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 ◆東京都府中市日鋼町1-1 ◆TEL：0120-232-711(通話料無料)  
◆〒137-8081 新東京郵便局私書箱29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部



2014年8月:JPX日経インデックス400の構成銘柄へ選定されました。

JPX日経400とは?

日本企業の魅力を内外にアピールすることなどを目的に、資本の効率的活用や投資家を意識した経営観点など、グローバルな投資基準に求められる諸要件を満たした会社で構成される新しい株価指数です。

## テンプホールディングス

東京都渋谷区代々木2-1-1 新宿メインズタワー TEL 03-3375-2220(代表)

※本報告書に記載されている事項には、将来についての計画や予想に関する記述が含まれています。実際の業績などはさまざまな要因により大きく異なる可能性があり、その確実性を保証するものではありません。

表紙に登場している人物はすべてパーソルグループの社員です(2017年5月時点)



この印刷物は「FSC® 認証紙」と「植物油インキ」を使用しています。



## 人と組織の成長創造インフラへ

PROFILE  
代表取締役社長 CEO  
水田 正道

1988年テンプスタッフ入社。  
1995年取締役営業本部長、2006年常務取締役東日本営業本部長、  
2010年取締役副社長、2012年代表取締役副社長に就任。一貫して営業部門を担当。  
2013年代表取締役社長就任。日本人材派遣協会会長、人材サービス産業協議会理事長を歴任。  
座右の銘は積小為大。

### 当期の概況

2016年度は、戦後3番目の長さとなる日本経済の景気回復局面を受け、雇用情勢は好調に推移しました。人材ビジネス業界に対しても多くの需要が寄せられる中、当社グループでは積極的な事業展開を図った結果、売上高5,919億円、営業利益は334億円と売上高・営業利益とも過去最高実績を更新する業績を達成しました。

一方、今後には目を向けると、人口減少や少子高齢化により日本の労働人口が縮小していく中で、日本経済が成長を続けるためには、社会全体の労働生産性の向上が必須条件となります。この課題の解決に向け、私たち人材サービス企業に課せられたミッションは《多様性ある働き方の実現》と《ミスマッチの極小化》であると考えます。

結婚、出産、育児、介護、老後。ライフステージの変化とともに、その人の生活にフィットする働き方は変わっていくものです。有期雇用、無期雇用、フルタイム、パートタイム等の雇用形態の垣根をなくし、ライフステージに適した働き方を自由に選べるようになれば、女性やシニア層の就業はもっと拡大することでしょう。これらを実現するために、2016年7月、私たちは新ブランド「PERSOL(パーソル)」を立ち上げ、さらにはホールディングス※やグループ中核会社の社名

を順次「パーソル」冠の新社名に変更していく予定です。新ブランドのもと《多様性ある働き方》をワンストップで提供し、生涯にわたり「働く」を支援する成長のパートナーを目指していきます。また労働生産性の向上には雇用のミスマッチを解消する必要があります。この《ミスマッチの極小化》へ向け、当社グループの有する膨大な情報とノウハウを最大限に活用し取り組んでいきます。さらに、「HRテック」などのテクノロジーにも注力し、情報の有効活用を進めていきます。

《多様性ある働き方の実現》と《ミスマッチの極小化》を通じて、より多くの人が働くことの喜びを感じられる社会の実現に貢献していく企業グループでありたいと願っています。

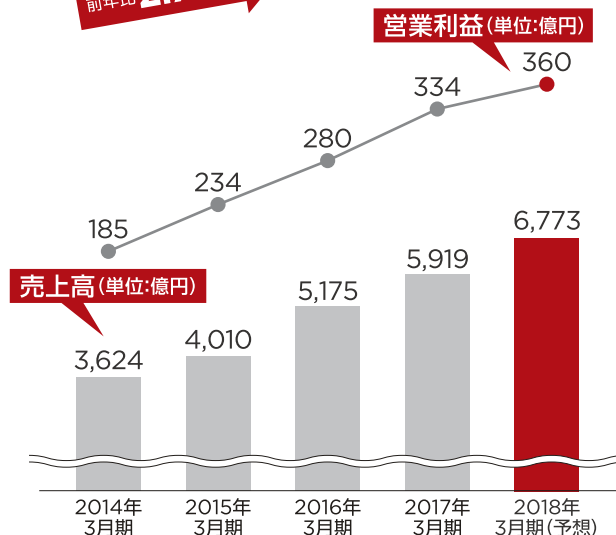
私たちはパーソルグループとして、引き続きグループビジョン「人と組織の成長創造インフラへ」の実現に向けて前進を続けていきます。



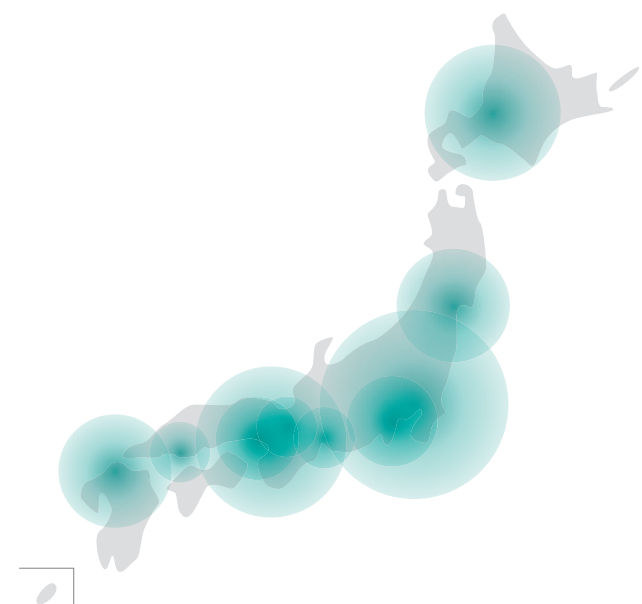
※6月開催の定時株主総会で承認されることを前提として変更予定

### 業績ハイライト 《2017年3月期 連結業績》

売上高・営業利益とも  
過去最高実績を更新



DODA × テンプスタッフ



全国主要10都市で展開していた人材紹介サービスを全国各地に拡大

TV-CMや交通広告など、大規模広告展開を開始

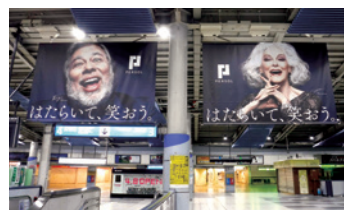
「世界の働く同志から、日本の働く人へのエール」というテーマのもと、大規模な広告展開を開始しました。現代のコンピューター産業の基盤を作り上げた世界的エンジニアのステイーブ・ウォズニアック氏と、70年間のキャリアを築き続けている85歳の現役モデル、カルメン・デロリフィチェ氏を起用し、「はたらいて、笑おう。」というグループのメッセージを強く印象付ける展開で話題を呼んでいます。第2弾として展開した人工知能AIを起用したバージョンも好評です。



新宿駅南口には大きな壁面広告が登場

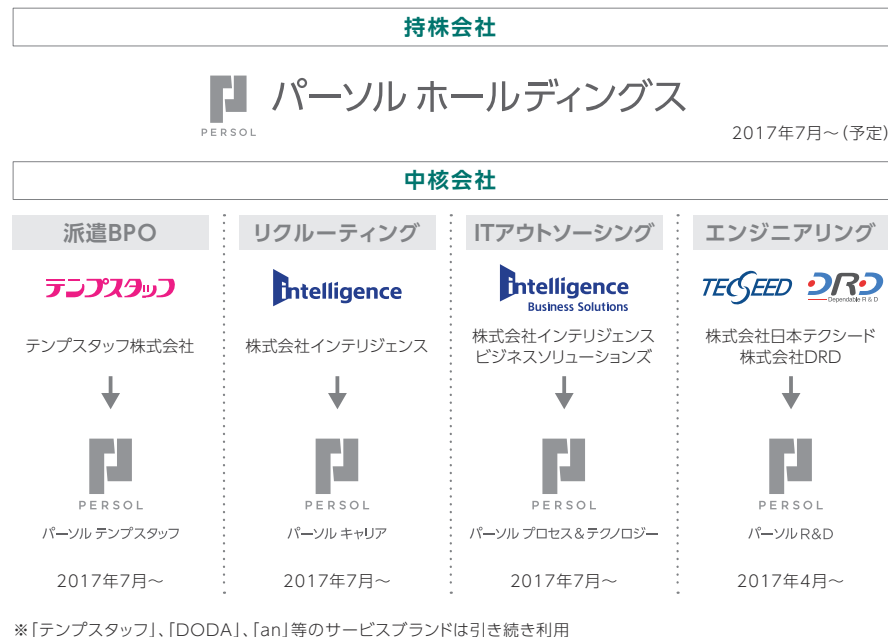


東京駅中央通路には大きな柱のウォズニアック氏



品川駅の改札内フラッグは圧巻の大きさ

新ブランド「PERSOL (パーソル)」について



ロゴ

意味

**PERSON + SOLUTION = PERSOL**

“人”(PERSON)の成長を通じて、社会の課題を“解決”(SOLUTION)する

グループブランド名には、はたらく人の成長を支援し、輝く未来を目指したいという想いが込められています。

例えばインテリジェンスが展開する転職支援サービス「DODA」。こちらは全国の主要10都市に拠点を設け、人材紹介サービスを展開しています。ここでのサービスの一つ、国内最大級の人材データベースを活用した人材紹介サービスとテンプスタッフの全国の営業拠点を組み合わせることで、これまで対応が難しかった地域の正社員ニーズや転職希望者のみなさまのニーズに、お応えできる機会が増えました。こうしたグループ各社間の連携を一層深めていくことにより、さらなる雇用機会の拡大に貢献していきたいと考えます。

さらなるグループシナジーへ

新ブランド「パーソル」のもと、一つのグループとしての認知度の向上と総合力の最大化へ、グループ内の連携をさらに深めていきます。

さらに当社についても6月開催の定時株主総会で承認されることを前提として、「パーソルホールディングス」への社名変更を予定しています。

グループ各社名に「パーソル」冠を

新ブランドのもと、2017年4月に社名変更をした「パーソルR&D」に加え、グループ中核会社であるテンプスタッフ、インテリジェンス、インテリジェンス ビジネスソリューションズの3社についても、2017年7月より「パーソル」を冠する社名へ変更します(右表参照)。

さらなる当社についても6月開催の定時株主総会で承認されることを前提として、「パーソルホールディングス」への社名変更を予定しています。

グループ各社間の連携を一層深めていくことにより、さらなる雇用機会の拡大に貢献していきたいと考えます。

当社グループは現在国内外90社以上、拠点数は500以上を持つ国内有数の総合人材サービスグループです。人材にまつわる様々な時代のニーズに対し、多彩なサービスメニューにより総合的に応えることができる当社グループの強みとなっています。労働力不足をはじめとした日本社会の課題に対し、その力を最大限に発揮していくためには、グループ一体としての認知を確立することが大変重要となるため、新ブランド「PERSOL (パーソル)」を立ち上げました。

パーソル立ち上げにあたり、私たちはブランドスローガン「はたらいて、笑おう。」を定めました。仕事をしながら、様々な困難を乗り越えたとき、そして、その努力が実を結んだとき、人は、また一歩、成長します。そのときの心からの笑顔の一つでも多くつくりたい——このブランドスローガンにはそんな社員全員の想いが込められています。

グループ一体としての認知を目指す

パーソングループのHRテックの取り組み

既存事業でのテクノロジーの導入および、テクノロジーを軸にした新規事業への参入

[DODA]のWEBサイトや、[DODA Recruiters]にAIを搭載し、マッチング精度の向上を実現。またHITO-Link、HITO-Talent、MyRefer、MIIDAS等の新サービスをリリース。

CVC※ファンドを核にしたHRテック企業とのOpen Innovation(オープンイノベーション)の推進

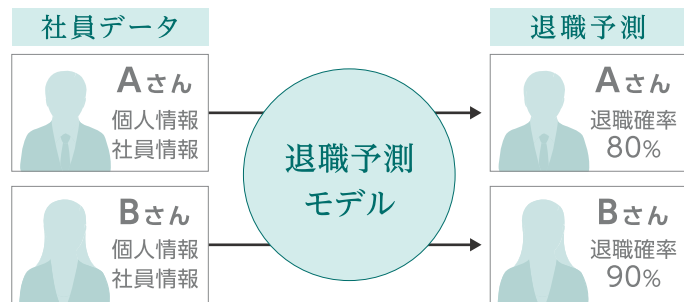
国内外のHRテックのスタートアップに対して出資するCVC「テンパイノベーションファンド」を設立。オープンイノベーションと呼ばれる外部との提携による新規事業創出の実現を目指す。

※CVC = Corporate Venture Capital

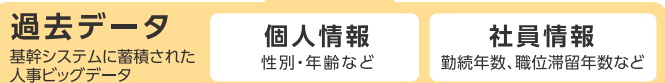
当社内人事での実践

当社内に人事情報室を設立し、退職予測モデルや異動後活躍組織予測モデルを構築。

人事ビッグデータを用いた退職予測モデル



ビッグデータ分析によりモデル構築



第1回HRテクノロジー大賞  
アナリティクス部門優秀賞 受賞

「HRテック(HRTech)」とは、「Human Resource(人材)」と「Technology(テクノロジー)」を掛け合わせた造語のこと。人事領域に革新的なIT技術を融合させる手法を指します。HRテックは、人材ビジネスに大きな変革をもたらす新潮流として、大きな注目を集めています。

パーソングループでは、かねてよりHRテックの推進を進めており、既存事業でのテクノロジーの導入およびテクノロジーを軸にした新規事業への参入、CVCファンドを核にしたHRテック企業とのOpen Innovation(オープンイノベーション)の推進、当社内人事での実践等、先を見据えた取り組みを行っています(上右表参照)。

そのうち当社内人事での実践では、当社内に「人事情報室」を設置。専属データサイエンティストによる、人事ビッグデータの分析によるさまざまなモデル構築を実践しています。その一つ、ある社員が退職する確率を予測する「退職予測モデル」は、検証用データに対して正解率90%という優れた精度を実現。実効性の高さが評価され「第1回HRテクノロジー大賞」アナリティクス部門優秀賞を受賞しています。

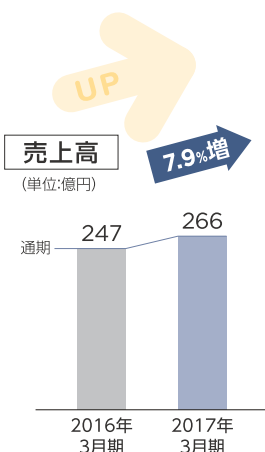
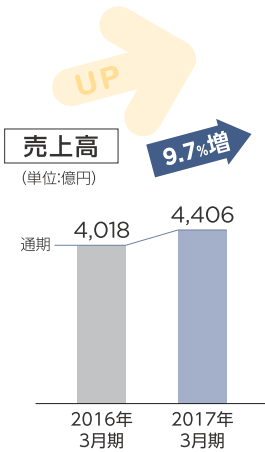
また、社員を異動させたとき成功する確率を求める「異動後活躍組織予測モデル」を開発。これまで経験や勘に頼ってきた人事の領域にデータ分析を導入することで「未来を予測し先手を打つ人事」の実現を目指しています。

セグメント別営業概況

派遣・BPO

セグメント

雇用関連指標が年度を通じて高水準で推移し、それに伴う慢性的な人手不足から、需要は堅調に推移いたしました。また、需要に対応すべく講じた様々な供給施策等が奏功し、売上高は大幅に伸長し4,406億円となりました。利益面においては、業容拡大に伴う人件費の増加や当社グループの派遣労働者及び従業員の社会保険料にかかる会社負担分の増加等の影響がありましたが、売上高の増加が大きく、増益となりました。



ITO

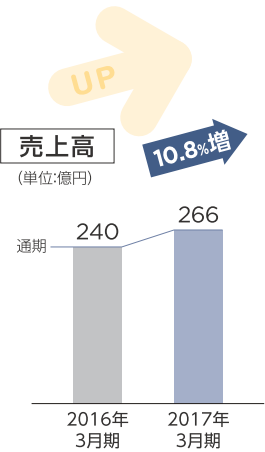
セグメント

顧客企業におけるシステム関連投資やSI関連サービスに対する引き合いは高水準で推移し、また当社グループにおける社内システムの開発等により売上高は順調に伸長いたしました。利益面においては、需要に応じた技術者の確保等、費用増加要因はあるものの需要の増加に伴い収益性が高まった結果、営業利益は20億円となりました。

エンジニアリング

セグメント

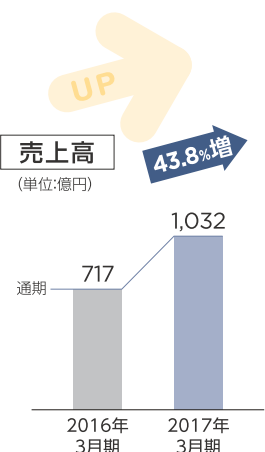
電機、自動車業界等を中心に人材需要は引き続き強く、売上高は順調に伸長し266億円となりました。利益面においては、需要の強さに伴い新卒者の配属が順調に早期に進んだこと、また収益性の高いプロジェクト運営を行った結果、営業利益は19億円となりました。



リクルーティング

セグメント

国内の人材紹介事業において人員増強等の営業体制強化を実施したことに加え、海外事業においてKelly Services, Inc.との合併事業範囲の拡大に伴う業容拡大効果があった結果、売上高は大幅に伸長いたしました。利益面においては業容拡大による人件費等の費用増加や、海外事業の影響等はありませんでしたが、売上高の増加により、営業利益は84億円となりました。

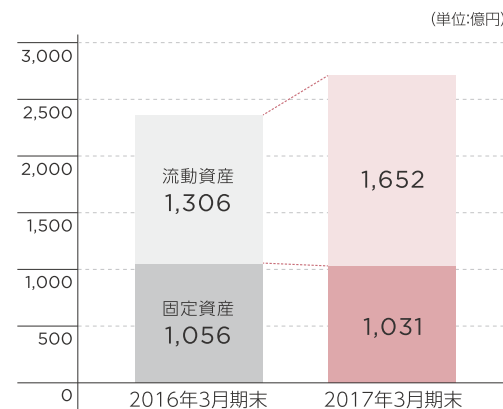




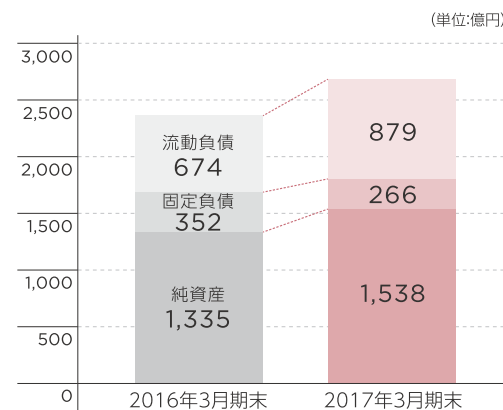
インターネットでも詳細なIR情報を公開しています。ぜひご覧ください。  
 テンプホールディングス ホームページ ▶ <https://www.persol-group.co.jp/>

## 貸借対照表

### 資産の部



### 負債・純資産の部



**POINT 1**  
利益増による増加

**POINT 2**  
M&Aによる増加  
償却・減損による減少

**POINT 3**  
未払金・未払  
法人税等の増加

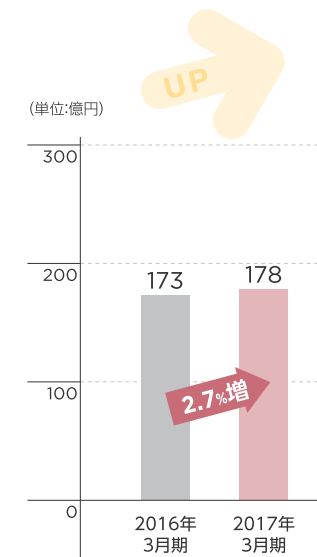
**POINT 4**  
親会社株主に  
帰属する  
当期純利益の増加

**POINT 5**  
M&Aによる増加

	2016年 3月期末	2017年 3月期末	増減額
<b>資産</b>	2,362	2,683	321
流動資産	1,306	1,652	346
現金及び預金	512	694	182
固定資産	1,056	1,031	△25
商標権・のれん	804	735	△68
<b>負債</b>	1,027	1,145	118
流動負債	674	879	204
固定負債	352	266	△86
長期借入金	249	204	△45
<b>純資産</b>	1,335	1,538	203
自己資本	1,272	1,391	119
資本金	170	174	4
資本剰余金	205	201	△3
利益剰余金	881	1,024	142
非支配株主持分	62	146	84

## 親会社株主に帰属する 当期純利益

2017年3月期の親会社に帰属する当期純利益は、営業利益額の伸長により、178億円(前年比2.7%増)となりました。



## 1株当たり配当金

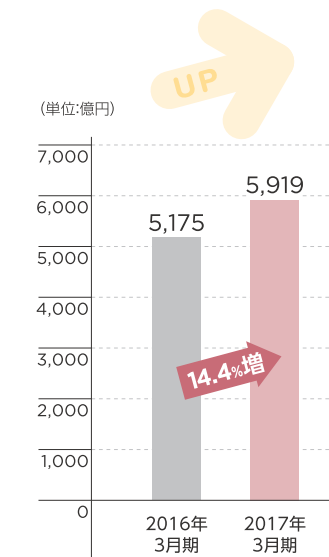
順調な業績動向や財政状態等を総合的に勘案し、2017年3月期における期末配当金は、当初予定をしておりました1株あたり8円から1円増配の9円といたします。

	中間配当	期末配当
2016年3月期	6.00	7.00
2017年3月期	8.00	9.00

※2015年10月28日を基準日、翌2015年10月29日を効力発生日として、普通株式1株につき、3株の割合を以て株式分割を行いました。上記数値は当該株式分割に伴う影響を加味し、遡及修正を行った場合の配当状況を記載しております。

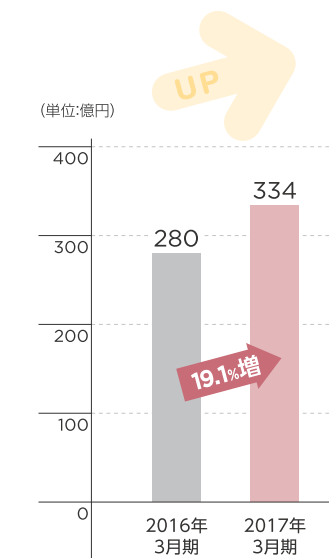
## 売上高

雇用関連指数の持続的な良化に伴い、各種人材サービスに対する需要は堅調に推移しました。良好な市場環境を背景に、当社グループにおいても、主力事業である人材派遣については稼働者数が高水準で推移し、人材紹介については転職決定人数が大幅に増加しました。また、海外におけるM&Aを通じた事業拡大に取り組んだ結果、2017年3月期の売上高は、5,919億円(前年比14.4%増)となりました。



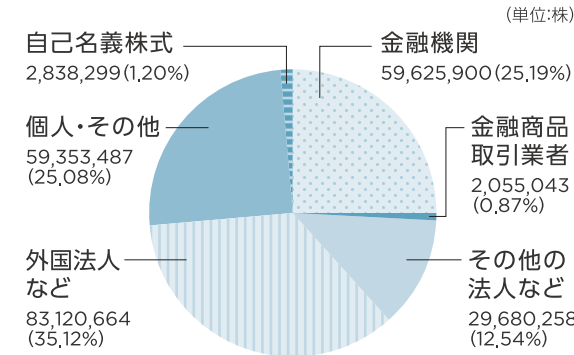
## 営業利益

各セグメントで人員増強や、サービスの利便性・認知度向上へ向けたWeb投資等を行いました。派遣・BPO、リクルーティングセグメントを中心に売上高が伸長したことに加え、同セグメントにおける既存事業の利益率が改善した結果、2017年3月期の営業利益は、334億円(前年比19.1%増)となりました。



# インフォメーション

## 株式所有者別分布状況 (2017年3月31日現在)



※持株比率(%)は小数点第3位を四捨五入しております。

## 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで	
定時株主総会	6月下旬	
基準日	定時株主総会 3月31日	期末配当金 3月31日
	中間配当金 9月30日	
株主名簿管理人 特別口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社	
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号 TEL 0120-232-711(通話料無料) ※株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関の事務拠点の移転に伴い、平成29年8月14日以降の連絡先は以下となります。 東京都府中市日鋼町1-1 TEL 0120-232-711 URL <a href="http://www.tr.mufg.jp/daikou/">http://www.tr.mufg.jp/daikou/</a>	
上場証券取引所	東京証券取引所(市場第一部)	
公告方法	電子公告 公告掲載URL <a href="https://www.persol-group.co.jp/">https://www.persol-group.co.jp/</a> (ただし、事故その他やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができないときは、日本経済新聞に掲載して行います。)	

## 株式の状況 (2017年3月31日現在)

- 発行可能株式総数 …… 720,000,000株
- 発行済株式の総数 …… 236,673,651株
- 株主数 …… 11,771名
- 大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
篠原欣子	29,831,600	12.75
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	16,300,500	6.97
日本マスタートラスト信託銀行 株式会社(信託口)	12,713,200	5.43
一般財団法人 篠原欣子記念財団	12,300,000	5.26
ケリーサービスジャパン 株式会社	9,106,800	3.89
篠原よしみ	5,438,400	2.32
CHASE MANHATTAN BANK GTS CLIENTS ACCOUNT ESCROW	4,868,906	2.08
株式会社三菱東京UFJ銀行	3,696,000	1.58
ウーマンスタッフ株式会社	3,618,000	1.54
JP MORGAN CHASE BANK 380634	3,537,900	1.51

※持株比率は、発行済株式総数から自己株式を除いた株式数(233,835,352株)を基準に算出しております。  
※持株比率(%)は小数点第3位を切り捨てております。

## 会社概要 (2017年3月31日現在)

会社名 テンプホールディングス株式会社  
Temp Holdings Co., Ltd.  
設立 2008年(平成20年)10月1日  
本社 東京都渋谷区代々木2-1-1  
事業内容 労働者派遣事業・有料職業紹介事業などの事業を行うグループ会社の経営計画・管理並びにそれに付帯する業務  
資本金 17,465百万円

## 役員一覧 (2017年3月31日現在)

名誉会長	篠原 欣子
代表取締役社長 CEO	水田 正道
取締役副社長 COO	高橋 広敏
取締役専務執行役員	和田 孝雄
取締役執行役員	小澤 稔弘
取締役執行役員	関 喜代司
社外取締役	Carl T. Camden
取締役	嶋崎 広司
社外取締役	玉越 良介
社外取締役	進藤 直滋
社外取締役	西口 尚宏
執行役員	林 大介
執行役員	長井 利仁
執行役員	宮村 幹夫
執行役員	峯尾 太郎
執行役員	高倉 敏之
執行役員	正木 慎二
執行役員	木村 和成
執行役員	山崎 高之

## パーソルグループは、事業を通じ 労働・雇用の課題解決に取り組んでいます。

人と組織に関する  
課題解決のために



## 働く人と組織の成長を 推進するための調査・研究機関 「パーソル総合研究所」

シンクタンク機能を有し、産官学を交えた研究会や調査等を通して人と組織に関する問題を研究し、機関誌やイベント、またメディアを通じて発信しています。

障がい者が活躍できる  
社会の実現を目指して



## 富岡市で障がい者による 養蚕事業を開始 (群馬県・富岡市)

障がい者の雇用機会の創出を通して伝統産業の継承と地方創生を目指します。各自が持つスキル・経験に合わせて、最適な職域で活躍できるようにサポートしています。

多様な「働き方」の  
実現へ向けて



## 職住近接で働けるオフィス 「ジョブシェアセンター」設立 (埼玉県・さいたま市)

育児や介護等の事情により、働き方に制限がある方が都心へ通勤することなく職住近接で働けるオフィスを設立。限られた時間や日数での就業を可能にし、多様な働き方の実現を支援します。今後は順次東京23区外や神奈川県、千葉県など首都圏での事業拡大を目指します。